

# 6-2 建築学科

Department of Architecture

## 建築学部 建築学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、建築学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(工学)の学位を授与する。  
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力  
E 図形コミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～S

I 建築学全般の基礎的能力 J 建築図面・文章等の基礎的表現能力 K 建築設計・計画に関わる能力 L 都市デザイン・まちづくりに関わる能力 M 建築生産に関わる能力  
N 建築環境・設備に関わる能力 O 建築構造に関わる能力 P 建築情報に関わる能力 Q 分析・考察・提案能力 R プレゼンテーション能力 S 進路計画能力

## 教育目標

建築学に関する幅広い専門的知識を学び、経済性や生産性を考慮しながら、美しく機能的な建築空間を計画・設計し運営できる能力、および安全で快適な建築構造・建築環境を構築し運営できる能力を育成する。「デザイン分野」の科目では、豊かで美しく持続性のある建築や地域の環境形成が求められている現代において、建築・住宅・インテリアからまちづくり・都市レベルに至る人間環境を計画・設計できる高度な専門知識・デザイン力を身につける。また、「エンジニアリング分野」の科目では、エコロジカルで快適かつ安全・長寿命の建築が求められている現代において、建築・都市の環境設備計画、構造計画およびその生産・運営管理ができる高度な専門知識・技術を身につける。さらにこれらの知識・技術・能力を総合的に修得することで、社会で活躍できる人材を育成する。

課程区分	科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業に必要な最低単位数					
		1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	課程共通			
修学基礎教育課程	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②									4	—	—	
	技術者倫理			▶ 技術者と持続可能社会 ②		▶ 科学技術者倫理 ②						4	—	—	
	人文社会科学・外国語		■ 日本文学の世界 ② ■ 人間と哲学 ② ■ 法と社会 ② ■ 経済と社会 ②	■ 日本学(日本と日本人) A ① ■ 日本学(日本と日本人) B ① ■ こところのはたらしき ② ■ グローバル社会(ヨーロッパ) ② ■ グローバル社会(アジア) ② ■ 芸術へのアプローチ ②	※1	■ 科学技術と社会 ② ■ 技術者のためのコミュニケーション ② ■ 企業の組織と戦略 ②	■ 日本国憲法 ② ■ 韓国語入門 ② ■ 国際関係論 ② ■ 危機管理論 ②	※1				2	0	※2	
	生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①										2	—	—
	人間と自然	▶ 人間と自然											合格が卒業要件	—	—
	生涯学習	□ 指定放送大学科目		□ 生涯学習特別講義									—	—	—
英語教育課程	英語	■ イングリッシュピクチャー1 ②	■ イングリッシュピクチャー2 ②	■ イングリッシュピクチャー3 ②	■ イングリッシュピクチャー4 ②	基礎									
		■ イングリッシュピクチャー3 ②	■ イングリッシュピクチャー4 ② ■ ビジネスコミュニケーション1 ②	■ ビジネスコミュニケーション2 ② ■ ビジネスコミュニケーション2 ②	■ ビジネスコミュニケーション1 ② ■ イングリッシュピクチャー4 ②	初級(案1) 初級(案2)									
		■ イングリッシュピクチャー5 ②	■ アカデミックリーディング1 ② ■ ライティングベーシック ② ■ STEM イングリッシュ ②	■ アカデミックリーディング2 ② ■ アカデミックプレゼンテーション ② ■ イングリッシュセミナー ②	■ アカデミックリーディング1 ② ■ ライティングベーシック ② ■ STEM イングリッシュ ②	中級(案1) 中級(案2) 中級(案3)	「修学のための学力診断(英語)」の結果から、学生の学習に適したレベル設定(基礎、初級、中級)を実施します。						—	8	※2
			■ TOEIC 初級 ② ■ TOEIC 中級 ② ■ インテンシブイングリッシュ ②												
数理DS・AI教育課程	数理基礎	▶ 線形代数 I ② ▶ 建築のための数理 I ② □ 建築のための数理 II ②	▶ 線形代数 II ② □ 建築のための数理 III ② □ 建築のための数理 IV ② ▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ①	□ 基礎化学 ② □ 基礎物理 ② □ 基礎生物 ② □ アドバンスト数理 A ②	□ 技術者のための統計 ② ※1 □ アドバンスト数理 B ②							9	6		
		▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①	▶ プロジェクトデザイン I ② □ グローバル P D ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②	※1							10	—	
基礎実技科目	基礎実技	一部科目の記載はp97-98参照		一部科目の記載はp99-100参照											
		▶ 建築大意 ② ▶ 建築基礎製図 ② ▶ 建築のしくみ ② ▶ 建築環境学 I ②	▶ 日本建築史 ② ▶ 建築構造力学 I ② □ 建築デザイン基礎 ② □ 建築設備総論 ②	▶ 建築キャリアガイド ① ▶ 西洋建築史 ② ▶ 建築設計 I ④ ▶ 建築構法計画 ② ▶ 建築構造力学 II ② ▶ 建築環境学 II ②	▶ 建築計画 ② ▶ 建築 C A D ② ▶ 建築設計 II ④ ▶ 建築材料 ② ▶ 建築構造計画 ② ▶ 建築設備学 ②	▶ 建築施工 ② ▶ 建築デザイン総合演習 A ③ □ 都市デザイン ② □ 建築デザイン論 ② □ 建築情報デザイン ② ▶ 建築エンジニアリング総合演習 A ③ □ 鉄筋コンクリート構造 ② □ 鉄骨構造 ② □ 建築環境設計 I ② □ 建築環境学 III ②	▶ 建築法規 ② ▶ 建築デザイン総合演習 B ③ □ 都市・まちづくり ② □ 現代建築論 ② □ サステイナブル建築 ② ▶ 建築エンジニアリング総合演習 B ③ □ 建築構造設計 ② □ 建築安全工学 ② □ 建築環境設計 II ②	建築デザインコース 建築エンジニアリングコース					60	※2	
専門教育課程	専門科目														
	専門プロジェクト科目									▶ 専門ゼミ ①		▶ プロジェクトデザイン III ⑧	9	—	
	その他							□ 進路セミナー I ①		□ 進路セミナー II ①					

▶ 必修科目 ▶ 必修科目(コース別) ■ 選択必修科目 □ 選択科目

○付数字は単位数を表す。

※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。

※2：「課程共通」は、「人文社会科学・外国語」、「生涯学習」、「英語」、「数理基礎」、「基礎実技」、「専門科目」の科目群の中から、6単位を修得すること。

合計

124

キーワード



科目群の主な学習・教育目標	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期
<b>建築学全般の基礎的能力 (I)</b> 建築に求められる、使いやすさや美しさにかかわる建築計画、安全性にかかわる建築構造、快適さや健康にかかわる建築環境の三つの領域を主に学ぶことにより、建築に対する理解を深めることができる。								
<b>建築図面・文章等の基礎的表現能力 (J)</b> 建築計画・建築構造・建築環境などで学んだ、建築や地域に求められる基本的な内容を、図面や文章等を使って的確に表現することができる。	▶ 建築大意 ②	▶ 日本建築史 ②	▶ 西洋建築史 ②	▶ 建築計画 ②	□ 建築デザイン論 ②	□ 現代建築論 ②		
<b>建築設計・計画に関わる能力 (K)</b> 建築空間の用途に応じた計画・構成・意匠を理解することができる。さらに、建築や都市空間を調査・分析・評価する能力を養い、建築の歴史および最先端の動向を踏まえた機能的で美しい建築を設計することができる。	▶ 建築基礎製図 ②	□ 建築デザイン基礎 ②	▶ 建築設計 I ④	▶ 建築設計 II ④	▶ 建築デザイン総合演習 A ③	▶ 建築デザイン総合演習 B ③		
<b>都市デザイン・まちづくりに関わる能力 (L)</b> 都市や地域を形成する集合体としての建築群の役割や特性を、歴史的な変遷を含めて理解することができる。また、都市を調査・分析し、都市デザインやまちづくりを構想・計画する手法を理解し実践することができる。					□ 都市デザイン ②	□ 都市・まちづくり ②		
<b>建築情報に関わる能力 (P)</b> 建築・都市の各専門分野における活動特性を理解し、それに必要な情報のかたちや活用方法を構想できる。また、各種デジタルツールを組み合わせた建築情報環境を構築し、設計・分析・コミュニケーション・ものづくり等に活用できる。				▶ 建築CAD ②	□ 建築情報デザイン ②			
<b>建築生産に関わる能力 (M)</b> 建築構法および材料の特徴を理解することができ、安全で快適な建築空間を実現するために合理的な施工方法やそれに関わる各種法令について理解し、持続可能な建築の計画・設計を行うことができる。			▶ 建築構法計画 ②	▶ 建築材料 ②	▶ 建築施工 ②	▶ 建築法規 ②		
<b>建築構造に関わる能力 (O)</b> 建築を支える構造の特徴を力学的観点から理解することができ、安全な建築を実現するために構造種別に対応した設計の考え方やそれらの方法を理解し、自ら計画した建築の構造計画・設計を行うことができる。	▶ 建築のしくみ ②	▶ 建築構造力学 I ②	▶ 建築構造力学 II ②	▶ 建築構造計画 ②	□ 鉄筋コンクリート構造 ②	□ 建築構造設計 ②		
<b>建築環境・設備に関わる能力 (N)</b> 快適で健康的な建築を実現するために、建築の内外に形成される音・光・熱・空気・エネルギー等の環境と人間との関係性を理解することができる。さらに、建築環境・設備の知識を活かし、快適な空間を計画することができる。	▶ 建築環境学 I ②	□ 建築設備総論 ②	▶ 建築環境学 II ②	▶ 建築設備学 ②	▶ 建築環境学 III ②	▶ 建築環境設計 II ②		
<b>分析・考察・提案能力 (Q)</b> 建築の基礎から応用までの学習過程で得られた知識を確認し、それらを用いて問題を発見し、解決することができる。					▶ 建築エンジニアリング総合演習 A ③	▶ 建築エンジニアリング総合演習 B ③		
<b>プレゼンテーション能力 (R)</b> 自分の意図するところや得られた成果を分かりやすく論理的に表現することができる。	● プロジェクトデザイン入門(実験) ②	● プロジェクトデザイン I ②	● プロジェクトデザイン II ②	● プロジェクトデザイン(実験) ②		▶ 専門ゼミ ①		
<b>進路計画能力 (S)</b> 建築関連分野における実社会の動向を理解し、大学院進学も含めて将来の進路を幅広く展望した上で、自らの進むべき方向を決定することができる。			▶ 建築キャリアガイド ①		□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①		
							▶ プロジェクトデザイン III ⑧	

▶ 必修科目 ▶ 必修科目(コース別) □ 選択科目 ● 他課程の科目

学ぶ領域

1 建築設計・計画

使いやすく美しい建築を実現するために、建築空間の機能・構成・意匠等を理解し、自らの感性を活かした建築を設計する。

2 都市デザイン・まちづくり

都市や地域の役割や特性について、歴史的な背景を含めて理解し、都市デザイン・まちづくりの構想や計画を立案する。

3 建築情報

建築・都市の活動を支える情報技術の役割を理解し、スマートな建築・都市およびそのライフサイクルのかたちを計画する。

4 建築生産

建築の構法や材料などの建築生産、建築法規について理解し、再利用・長寿命化等の持続可能な建築の計画・設計を行う。

5 建築構造

安全で安心な建築を実現するために、建築の構造的特徴を、安全性の観点から理解し、安全性評価と一貫した構造設計を行う。

6 建築環境・設備

建築の音・光・熱・空気・エネルギー等の環境と人間との関連性を理解し、人間の生理・心理を考慮した環境負荷の小さい快適な空間を計画する。